

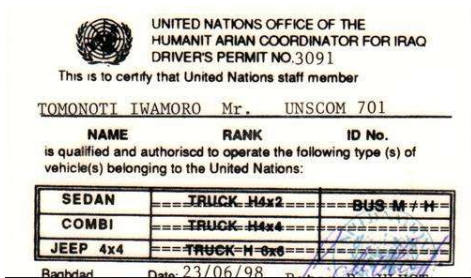
## イラクのハイウェイは戦車、馬車、人の横断

岩本友則

イラクに着いた翌日から自分で車を運転して査察に行かなければなりません。イラクはハイウェイ（高速道路網）がよく整備されていました。このハイウェイを利用し、メソポタミア文明の地・・・チグリス川、ユーフラテス川に架かる幾つもの橋を越え、査察に行ったのです。

### 運転免許証が無い

外国で車を運転する場合、自国の運転免許証とパスポートを所持していれば、国際法上どの国でも車を運転することが出来ます。当然、レンタカーも借りることができます。



運転しながらふと気が付くと日本の免許証もパスポートもバーレーンのフィールドオフィスに置いてきたではありませんか！あろう事かイラクで無免許運転しているのです。

イラクでの運転講習も受講していましたが、左記の運転免許証を私が受け取ったのは、10日ほど後のことでした。

### バグダッドの市内の運転は複雑

バグダッド市内は、チグリス川が蛇行しながら市内を流れているせいか、道路網が複雑でよく道に迷いました。そんな中、助けになるのが市内のあちこちにある特徴的なモニュメントです。私たちが目印にしていたのが、写真のアリババのガールフレンドと呼ばれていたモニュメントです。これは、ロータリーの真ん中にある噴水です。また、クレージーパイロットと呼んでいた銅像です。道に迷ったとき、これらのモニュメントを基点として道の迷いから脱出することが出来ました。



また、イラクでは、渋滞して車が動かない場合、イラクの人たちは、対向車線を平気で走ります。あっ間違えた、ここは一方通行・・・私が正しいのです。このような場合、迷わず突き進むのだとイラクの人は、教えてくれました。しかし、こうした光景に何度か出くわしましたが、群をなして向かってくる車に対し突き進む勇気は私には無く、いつも脇道に逃げたのでした。

### 車の故障はその場で修理

ベンツなどの高級車が走っている一方、窓ガラスの無い車、バックミラーがさび落ちてボロボロの車が多く走っています。そして、故障して動けなくなっている車、車通りの激しい中であって、三車線の真ん中であらうと、その場に車を止めて修理しています。それが大変危険です。彼らは、車の下に潜り込み、足をはみ出させ修理しているのです。ですから良く注意して運転しないと、修理し

ている人の足を引いてしまいます。また、ヘッドライトの無い車も多く、更には信号機も停電が頻繁にあることから作動せず、ただでさえ運転は肝を冷やすことの連続であり、夜ともなればいっそう危険な状態になります。

### 緊急時は、武蔵野便所が頼り

イラクは高速道路も比較的良く整っています。ただし、日本の様にサービスエリア、ドライブインはありません。子供達が道路脇で、ジュースなどを売っているだけです。トイレもありません。草むらの武蔵野便所が頼りです。



私たちの車には、トイレットペーパーが常備されていました。その訳は、イラクに来て間もない査察官の多くは、下痢に悩まされるからです。その時、車に常備しているトイレットペーパーは、強い味方となります。

チグリス、ユーフラテス川流域は、非常に緑が多く肥沃で豊かな土地です。一方、チグリス、ユーフラテス川流域から離れれば、写真のように緑はまばらです。従って、頼りの武蔵野便所に困るのです。特に女性は大変そうでした。

### 高速道路に、戦車、馬車、人の横断

イラクの高速道路には驚きがあります。高速で走る車の合間をぬって、のどかに馬車が走っています。はたまた、人々は高速道路を平気で横断してきます。高速道路の所々に戦車が配備されています。もっと驚いた事は、映画ベンハーのクライマックスで、主人公のベンハーとローマ軍司令官との間で壮絶な馬車の競争シーンがありますが、司令官の馬車の車輪にドリルのような突起物があり、競争相手の馬車を壊していくシーンがありましたが、イラクのトラックやバスにも、これと同じ様な金属性のドリルを車輪につけているのです。ですから、下手に近づけばパンクあるいは車を壊されてしまいます。

### 避けたい地獄

車の運転には、2つの待ち受ける地獄がありました。その一つが、タイヤパンク時のタイヤ交換、です。私の滞在当時、最高気温が51°C~53°C、最低温度が34~36°C、日の当たる所は70°Cを超えています。そんな中でパンクしようものなら、四輪駆動車の大型タイヤ交換、想像を絶するもので、その作業はまるで地獄です。

二つ目は、交通事故です。交通事故を起こした場合、イラクとのトラブルを避けるため、直ちに無線機で国連のバグダッド事務所に事故連絡しアラビア語の出来る専門スタッフに来てもらう必要があります。しかし、全てのスタッフはトランシーバーを所持していますから事故報告は、即座にスタッフ全員が知る所となり、超人気者になります。(言い換えればイジメのようなものです。)

幸い私は、この2つの地獄は避けられたのです。

続く